



第46回 旧海軍工作学校戦没者 慰霊祭

令和5年5月22日(月)、久里浜観光協会主催の慰霊祭を執り行いました。晴天に恵まれた中、総勢20名が出席しました。また、久里浜の文化を考える会が作成した「旧海軍工作学校記念碑 説明板」の除幕式も同時に実施しました。その様子をお届けいたします。



▲久里浜公園内に新しく設置された説明板には、記念碑建立までの経緯や海軍工作学校の当時の様子が、写真付きで分かりやすく解説されています。

～旧海軍工作学校戦没者慰霊祭とは～

かつて久里浜の地に創設されていた海軍工作学校の史実を後の世代へ伝承していくために、毎年5月22日に学校跡地の中心部にあたる久里浜公園(久里浜6-11)にて、ご遺族や関係者の方々を招いて実施しています。

海軍工作学校とは、戦時下の昭和16年に開校した工作術専門の教育機関です。卒業生である5,100余名が、太平洋戦争において尊い命を捧げました。

戦後、生存された卒業生は工作学校で学んだ技術を用いて、日本の復興支援に大きく貢献しました。

久里浜公園内の『海軍工作学校跡の碑』は戦没者の冥福を祈るために、発起人の方々によって昭和52年5月22日に建てられたものです。

▲当日はご遺族を代表して、矢島 真知子様から貴重なお話を伺いました。



久里浜行政センター



くいはまニュースの
バックナンバーは、
久里浜観光協会
公式サイトで
ご覧いただけます。

久里浜観光協会
公式サイトQRコード

